

●タウンミーティング③ ～大阪狭山市の公共施設をみんなで考える～

日時：令和6年7月12日（金）18時30分～20時30分

場所：大阪狭山市立公民館 3階大集会室

質疑応答・意見交換

	参加者等のご意見等	応答
1	・障がいを持つ子どもたちの大切な居場所・日中活動の場、地域活動支援センターさつき、福祉センターの工事中の、施設利用者の居場所についてはどうなるのか。 ・代替案があるのであればお聞きしたい。	・まずどういうものをつくるかが決まっておらず、どういう工程で進んでいくかも決まっていないため、具体的なことは言えませんが、現在、施設を利用している方々が工事中どうするのかということについては、非常に関心のある部分だと思います。 ・これだけ広大な敷地に、多機能複合施設をできれば規模を縮小してという考えの中で、1つの建物に集約するのか、例えば2つくらいにエリアを分けて集約するのか、3つの建物に集約するかと色々な考え方がありますが、新たな施設を建設中は元の施設が利用できないのでその代替の場所については確保しようと思っています。 ・その代替場所については、どこになるかはわかりませんが、現在の利用者が不便のないよう、活動できる場所は保障していきたいと考えています。
2	・今回の大規模な改装のエリアに含まれる郷土資料館の裏に、会員一同で協力し、また色々な人のご支援もいただき、23年前に会員一同念願のアプリコットホームを建てた。 ・今回の想定されているエリアには、われわれの建物が含まれており、最悪の場合、立て壊しとなるのではと会員一同、大変危機感を持っているが、どのようになるのか。	・大阪狭山市の知的障がいをお持ちの方もアプリコットホームさんには、お世話になっています。また、障がいをお持ちの方向けの市の事業の充実に対してご協力いただいていることに感謝申し上げます。 ・アプリコットホームについて、今回の対象のエリア内にあるといえませんが、大切なのは、将来、現在のように単独で維持する方がより利用者さんが利用しやすくなるのか、複合化する公民館での色々な活動団体のみなさんと同じ建物の中に入ること、より利用者さんが充実した生活を送れるようになるのか、今後、話し合いになるかと思っています。

	参加者等のご意見等	応答
		・今の時点では、どちらでも選択は可能です。どんなかたちでもつくる事が出来ます。我々が重要に思っていることは、利用者さんにとってどういう環境があればいいのか、そこを突き詰めていくつもりなので、みなさんのご意見もしっかり聞き、尊重して、かたちを作っていきたいと考えています。
3	・今熊地区周辺エリアについては、現在、公民館、図書館、福祉センター、保健センターがあり、人の集まる場所であると住んでいて思う。 ・例えば市民プールについて、現在は学校のプールを開放しているが、夏休み限定でしか利用できない状況であるため、屋内プールをつくったり出来ないか ・これからは色々な人が利用するという施設になると思うので、そういう施設があると魅力的だと思うのだが。	・この場所で「憩えるようになる」「にぎわえる場所になる」「学ぶ場所になる」このコンセプトに合う機能については、全て検討材料にあげていきたいと考えています。 ・どういう方が、いつ利用されるかなど、色々細かく検討をしていくときに、この場所に、この機能についてはあった方がよりみなさんにとって有益になるだろうという判断になれば必要なものとなっていくと思います。 ・例えば、現在は市民プールについては、小学校のプールをお借りして夏休みの間、市民プールとして開放していますが、今後も現在のようなかたちでよいということになれば、当然今の状態になるでしょうし、そこは今後検討していきたいと思っています。
4	・PTAの役員などもししており、子どもたちを見ていて、非常に運動能力の低下をよく感じる。運動機能を上げられるものの必要性を感じる。 ・特に公園ではボール遊びが出来ない、ボールを投げられない子も非常に多い ・また、夏は外が暑いので外で遊べない、体育の授業が出来ない、体育館も使えない、こういう状況があるので、子どもたちの健康や高齢者の熱中症対策として、屋内の運動施設があれば、健康にも寄与するし、非常ににぎわうのではないかと。	・運動機能ということだが、例えばスポーツという運動を考えるならば、本市にもあちこちにスポーツ施設があります。 ・スポーツをイメージした運動を考えるのか、単に健康を維持する運動を考えるかによって、必要な機能の規模や中身が異なると思っています。 ・今後、この施設の中にどんな運動設備があるとよりみなさんが使いやすい施設となるか、検討していきたいと思っています。 ・そこが屋内運動場となるかどうかはまだこれからの話になりますが、なにがしかの運動機能が果たせる設備は検討していきたい

	参加者等のご意見等	応答
		と考えています。
5	・中学校で今後、クラブ活動等が廃止されるのではないかという話を聞いている。子どもが現在小学生で、中学校に入る頃には部活動がなくなっているのではないかと感じている。 ・外部の講師などを呼んで継続するといったことは考えているか。また、そういった取組みが大阪狭山市の魅力になっていくのではないかし、人口減少にも歯止めが効くのではないかと考えているが、それについてはどうか。	・部活動の地域移行についての話は、市としては現在検討段階ですが、令和6年度中には実証的に卓球部を民間にお任せして実施していくという取り組みを進めていきたいと考えています。 ・将来的にどのようにしていくかについては、放課後の子どもたちの過ごし方について、社会全体で子どもたちを育てていけるように進めていきたいと考えており、いろんな方々のご協力をいただきながら、市全体で考えていきたいと思っています。 ・また、スポーツに関する部活動だけでなく、文化に関する部活動についても同様に考えています。
6	・ハード面の話が出ているが、お金はあるのかと心配している。 ・ICT教育の充実というのが想像できない。 ・小学校はICT教育のパイロット校になる、あるいは幼稚園・こども園が統合するというソフト面の話は、どういうかたちで進めていくのか。中身についての話を聞いていただける、市民に向けてのミーティングという取組みは今後あるのか。	・ICT教育では、GIGAスクール構想でPCが児童生徒1人に1台貸与されており、その活用を研究していくパイロット校として、市全体に成果を広げていくというかたちを考えていますが、具体的にどのように授業を進めていくかということについては、これから検討していく段階です。 ・こども園、幼稚園を1園化した時に、どうしていくかという答えはありませんが、ただ数だけ合わせて終わりというわけではなく、他の公立幼稚園・こども園にはない新しい魅力をつくっていく必要があると考えています。 ・狭山中学校の建替えにおいても、現在小学校で推進しているコミュニティ・スクール制度に絡め、地域の方々が学校に入ってきてくれるような、逆に子どもたちが地域に出ていけるような、そういう環境をもてるような校舎づくりが必要であると考えています。 ・今熊施設周辺エリアの公共施設をどうしていこうかということについては、ワークショップを予定しているなど、いろんな機会を通じて市民の皆さんのお声を聴いてかたち

	参加者等のご意見等	応答
		をつくっていきたいと考えています。
7	・建物以外に、そこに集まる人や、内容をどうつなげていくかということを議論するタウンミーティングをぜひ開いてほしい。 ・障がいがある方たちの話を聞くこともしていただきたい。 ・学校のかたちを変えるのであれば、今は地域共生社会などと国が盛んに言っているが、インクルーシブな教育、市民のつながりをどうつくっていくかが大事である。 ・大阪狭山市は、小規模な市なのでつながりがもちやすく、行き来がしやすいという良い面があり、今熊地域のことでもそうだが、子どもから高齢者、障がいの有無に関わらず、みんなが交流できる場をつくるべき。 ・例えば、さやま荘は60歳以上の高齢者の方々が、さつき荘は、障がいのある方々が、その人たちだけで集まる空間となっているのが現状である。 ・実際の経験談として、老人会でボッチャをするときに、小学生を連れて行った際には、自然と会話が生まれ、とても盛り上がったということがあった。 ・全世代が、あの場所へ行けば何かがあるなという場所を市民のみんなで考えるきっかけをぜひもっていただきたい。	・貴重なご意見であり、非常に大切な視点だと思っております。 ・現在の施設もかなり充実した設備であると考えていますが、新たにつくっていく多機能・複合施設におきましては、絶対に必要な考え方であり、それをかたちにするのに、どのようなことが必要なのかということについて、皆さんと一緒にしっかりと議論してかたちづくっていきたいと考えています。
8	・私学のこども園の運営は、少子化の影響で厳しいなか、公立のこども園と私学のこども園をどう両立させていくかということについては、公平かつ客観的に見ていただく必要があると思う。 ・0歳児の配分など市の判断に委ねているところもあるので、そういう部分で私学と公立の棲み分けについて考えがあれば伺いたい。 ・ネットワークについての言及がなかっ	・公立、私立との役割については、公立の果たすべき役割を強く求められていると考えており、しっかりと応えていく必要があると考えています。 ・従来から公立と私立の方々との連絡体制があり、具体的にどういう役割をとということについても細かく決めていくことが必要であると考えています。 ・ネットワークについては、非常に大事な部分であり、様々な機関、大学とつながりをも

	参加者等のご意見等	応答
	たので、例えば大学や他の自治体とのつながりのことであり、いろんな施設のファシリティを最も価値の高いかたちで提供するためには、どうしても必要であると考えているので、その点も伺いたい。 ・大阪狭山市自身が発展していく必要があると思うが、移住をプロモーションすることが必要であると考えている。 魅力のあるファシリティや、施設、サービスが最終的に移住に繋がると思う。 それについて今後具体化して進めていけば、こども園の園児数増加につながるなど全体としてプラスになると思う。	ちながら充実した内容にしていきたいと思っています。 ・子どもたちを今後どうしていくかというところについては、これまでのまちづくりにおいて、子育て世代に特に重点的にいろんな施策を展開し、それを今かたちにできていく状況であり、その1つが、就学前の子どもたちの環境です。子どもたち、もしくはその保護者にとって、いろんな選択肢があることは魅力の1つとなっていると思っています。 ・時代とともに共働きの世帯が増えたこともあり、長時間預かってほしいというニーズを吸収してきたのは、どちらかという民間の保育所・こども園であり、時代の流れを的確に、早く形にしてきたのも民間園であると思っています。そのような民間園の良さと、公立としてセーフティネットとしての役割を担うということなど、それぞれの役割を考えながら、子育て環境、教育環境を充実させてきているという経緯があります。 その甲斐もあり、本市は他市に比べると急激な人口減少には至っていないという状況にあると考えています。 ・民間のこども園、保育所にはできない教育・保育というものを追及し、ネットワークを駆使しながら、いろんな新たな魅力をつくりたいと考えており、それが本市の子どもたちにとって、より良い環境づくりにつながると思っています。
9	・新こども園の統合についてだが、市ではよくアンケートをされるが、その後いつの間にかすぐに進行してしまうということが過去に何回かあった。 ・以前の太陽光発電も、アンケートをとってすぐに始めてしまった、というのが気になっている。 ・こども園については詳しく知らないが、子どもの数が減ったとしても、市民、親がそれでいいと言っていたら継続したらど	・なぜ、今公共施設の見直しをしないといけないのかという現状をしっかりと認識していただきたいと思っています。 ・各施設が抱える課題については説明させていただくところですが、その課題を解決することが本市の子どもたちのためには、一番良いことだと思っておりますので、その辺りを市民のみなさまと一緒に考えていきたいということで、こういった場を設けさせていただいておりますので、ご理解の程よろし

	参加者等のご意見等	応答
	うかと思う。 ・新こども園のことは、やらなくてもいいことに時間とお金を使うことになるのではと思っている。	くお願いいたします。
10	・幼稚園の統合のことだが、家から幼稚園が西山台の方に 1 つのこども園になることで、遠くなるという心配される意見が意見募集の中で多かったように思う。親にとっても、子どもにとっても、一番の関心事、不安だと思う。	・公立、私立に関わらず、子どもたち、保護者にとって、魅力があればある程度時間がかかっても通わせたいと思うのではないかと考えており、通わせたいと思っていただけるような園をつくっていくことが、何より大事であると考えています。 ・取組みを進めるにあたりデメリットが生じることも考えられ、一定の配慮は必要であると思いますが、デメリットを上回るだけのメリットをしっかりとつくっていきたいと考えておりますので、ぜひとも今後ともよろしくお願いいたします。